

ひろしまマイスター
広島市西区 米花俊明 さん



よねかとしあき・広島市出身
2008年ひろしまマイスター認定
2013年ものづくりマイスター認定
2014年厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)
2016年秋の黄綬褒章受章
2017年全日本畳事業協同組合理事長就任
技能検定委員及び技能グランプリ競技委員を務める

■価値ある修業を経て職人の世界へ

ものを作ることがもともと好きでした。畳だけでなく、何も無いところから形を作り上げることは面白いですね。実は、学校で数学の $\sqrt{\quad}$ (ルート)計算が途中でわからなくなって、それが嫌で学校に行かなくなったんですよ。でも京都の訓練校で部屋の寸法を割り出すのにルートを使う必要があり驚きました。今になったら、笑い話ですがね。

米花畳店は、明治以前から続いている畳屋で、茶道上田宗箇流の家元の畳替えなどを先々代から続けてやっております。自然な流れで畳職人になりました。

修業当時は、住み込みで働いて、夜、訓練校に通わせてもらっていました。現在の立場があるのも、京都御所の仕事をさせてもらった4年間の大変価値のある充実した修業のおかげです。



寺社で使用する特殊な畳を手縫いで製作

■一つだけでも人にはできないことができれば、認めてもらえる。

部屋に畳を敷き詰める今の形式になったのは、室町時代の書院造りからで、特に明治時代になってから増えたようです。一昔前、畳は階級によって縁が決まっており、今でも畳の縁にある紋縁(もんべり)の大きな紋は、格式のあるお寺しか使えない決まりもあります。

私は、寺社の祭礼道具に用いられる特殊な畳の有職畳(ゆうそくたたみ)を手縫いで製作しておりますが、この紋と紋をきちんと合わせるには材料選びから始まり、四隅の紋や角の紋が欠けないように形よく配置することが重要です。これが難しく、熟練の技と経験による勘が必要になります。こういう難しいことに興味を持って作ると面白く、作り甲斐があります。この手縫いの有職畳を作れる方は県内でも少なくなっています。ものづくりは、全部が全部ずば抜けていなくてもいいから、何か一つだけでも人にはできないことを持っていれば、認めてもらえます。若い人に後を引き継いで欲しいと思います。



一針一針縫い合わせ、紋様をピッタリ合わせる熟練の技

■畳の良さは？

和室にいると気持ちが落ち着きますね。イ草の香りや畳表の色合いには気持ちを落ち着かせる作用があると思います。畳表の薄緑色がだんだん変わっていく過程もよいものです。畳は適度なクッション性があるので、幼児や高齢の方が転倒した場合等、フローリングの衝撃と多少違うと聞いています。また、イ草の研究をされている北九州市立大学の森田教授によれば、和室と洋室で小学生が簡単な算数の問題をそれぞれ30分ずつ解いた場合の解答率は、和室が洋室を上回り、和室には子どもの集中力がアップする効果があるとも言われています。



若い頃から使用している
畳用待ち針



毎日研いで小さくなった包
丁(真ん中)



畳縁用の定規



お手製の指抜きならぬ手のひら抜き



畳の縁は、階級によって色や柄が決まっていた

■和の文化を感じてもらいたい

平成29年秋に、東京オリンピックに向けて、着物団体が主体の日本文化の魅力を発信するイベントに参加し、畳でおもてなしプロジェクトとして、ミニ畳のワークショップを実施しました。着物業界も畳業界も若い人たちに馴染んでもらえないのですが、今回はお茶や華道の団体ともコラボしたことで、若い人たちに和の文化をより身近に感じてもらえたと思います。

また、広島畳協同組合では10年以上前から毎年、高齢者施設で、畳替えのボランティア活動をしています。傷んだ畳表をはがし、一枚一枚丁寧に仕上げ、高齢者の皆さまに、大変喜んでいただいております。毎年開催しているものづくりイベントでは小学生向けに「ミニ畳」の体験会をしています。若い人たちの畳需要が減りつつありますが、皆さんに畳の良さを知って、使ってもらいたいです。



住宅で使用する畳は、多くの工程を機械で製作する。機械の修理から何でもこなす米花さん

ひろしまマイスターへ5つの質問

Q1畳職人の魅力は？

なぜこのようなものを昔の人は作ったかを考えるのが魅力。ものを作ることで、昔からのものを引き継ぐことができます。

Q2若い畳職人へ伝えたいことは？

楽しんで欲しいですね。楽しんで仕事しないと長続きしないです。

Q3この仕事をして良かったことは？

他のことを考える余裕がないほど、一生懸命仕事をしました。これがあったから、今、全国の方と知り合いになり、繋がりができました。

Q4畳職人の仕事で難しいところは？

部屋によって材料を見極め、お客さんに提案することです。

Q5ストレスの解消法は？

旅行ですね。楽しみを持って仕事をしています。

広島畳協同組合上野理事長が思う「米花さんのここがスゴイ！」

- 1 人材育成に熱心で、組合員からの技術的な相談も懇切丁寧に教えてくれる。
- 2 全日本畳事業協同組合理事長に就任され、全国でも米花さんの認知度は高い。
- 3 広島畳協同組合で黄綬褒章受章は初。畳職人として技術的にも全国トップレベル。